

表紙は語る 表紙は語る

A n y

上辺ばかりを撫で回されて 急にすべてに嫌気がさした僕は
僕の中に潜んだ暗闇を 無理やりほじくり出してもがいてたようだ
真実からは嘘を 嘘からは真実を 夢中で探してきたけど
今 僕のいる場所が 探してたのと違って
間違いじゃない きっと答えはひとつじゃない
何度も手を加えた汚れた自画像にほらまた 12色の心で好きな背景を描きたして行く

拝啓 桜井君

10周年おめでとう。10周年を機にいつものミスチルからは想像もつかないほど、精力的に活動していましたね。そんなあなた達を見てこんなに働いていたらまた休業したくなっちゃうんじゃないか、などといらぬ心配をしたりしていました。そんな中で起きたあなたの病気というアクシデント。本当に驚きました。「調子がよすぎるといつかしゃべ返しがくるんじゃないかと想像して怖くなっていく。そんな自分が作り出した負のイメージに自身がコントロールされた結果」と今回の病気についてあなたは語っていました。私たちファンも余計な心配をしてあなたの負のイメージを増幅させる手伝いをしてしまったのかもしれない。元気で活動してくれるのを素直に喜ばしいんですね。どうもほめられたりしても、こいつ本気で言ってるのかな？とつい疑ってしまう。そんな性格だから、自身の幸せさえも疑ってしまい、不安に付け入る隙を与えちゃうのかも。どんな時でもあなたの言うとおり、いいイメージを創る筋力を育てて行ければ、病気という一見マイナスに見えるアクシデントも長い目で見れば、プラスに変えることもきっとできる。自身のことを歌うあなたの歌はこのアクシデントによりまた何か変化するでしょう。今までとは違うスタンスでものをみつめる、何かを得たあなたがそこにいるはずだと思います。

いろんなことを犠牲にして 巻き添いにして
悦に浸って走った自分を時代のせいにしたんだ
「もっといいことはないか？」って言いながら 卓上の空論を振り回してばっか
そして僕は知ってしまった 小手先でやりくりしたって 何ひとつ変えられはしない

今 僕のいる場所が 望んだものと違っても
悪くはない きっと答えはひとつじゃない
「愛してる」と君が言う 口先だけだとしても たまらなくうれしくなるから
それもまた僕にとって真実

もうベッドの上で新しい歌が生まれているかもしれない。「無駄な事は何ひとつとしてないさ 突然訪れる鈍い悲しみであっても」と歌ったあなたが、まるで誰かに試されているようだと思った日もあったけれど、「万事塞翁が馬」って、そんなところかもしれない、きっと。ところで私事になりますが、あなたが体調を崩したちょうどその日、我が家のライ隊員も突然目が見えなくなっていました。前日まで何も変わらず元気に過ごしていたのに、その朝は動けずに震えている状態でした。あなたの名から二文字をもらった名を持つ犬はどこかであなたとつながっている、そう思いました。そして人は皆心の中を潜って行った先で繋がっている、そう感じました。あなたの病気を知ってから「今私たちにできること」を私たちファンは皆考えたと思います。その方法は十人十色。人の数だけあるはずです。私からの「今できること」は目の前にあるひとつひとつを懸命にこなしていくこと。家族、友人、そしてあなたに支えられながら、ひとつひとつ。今では、ライ隊員も目が見えるんじゃないの？って思うほど元気に散歩しています。病気の事実は変わらなくともその中で最高の診断結果を得たあなたが再び歌ってくれるのを楽しみに待っています。世の中にはたくさんの歌があります。そんな多くの歌の中であなたの歌がどんなにかけがえのないものであるか、この休業中に私は多分再認識することになると思います。きっとそれはあなたにとっても同じなのではないかと思います。体も心も労わって。ゆっくり休んでください。待つのに慣れていますから。 敬具

交差点 信号機 排気ガスの匂い クラクション 壁の落書き 破られたポスター

今 僕のいる場所が 探してたのと違っても
間違いじゃない きっと答えはひとつじゃない
何度も手を加えた 汚れた自画像に ほら
また 12 色の心で 好きな背景を描きたして行く
また描きたして行く そのすべて真実